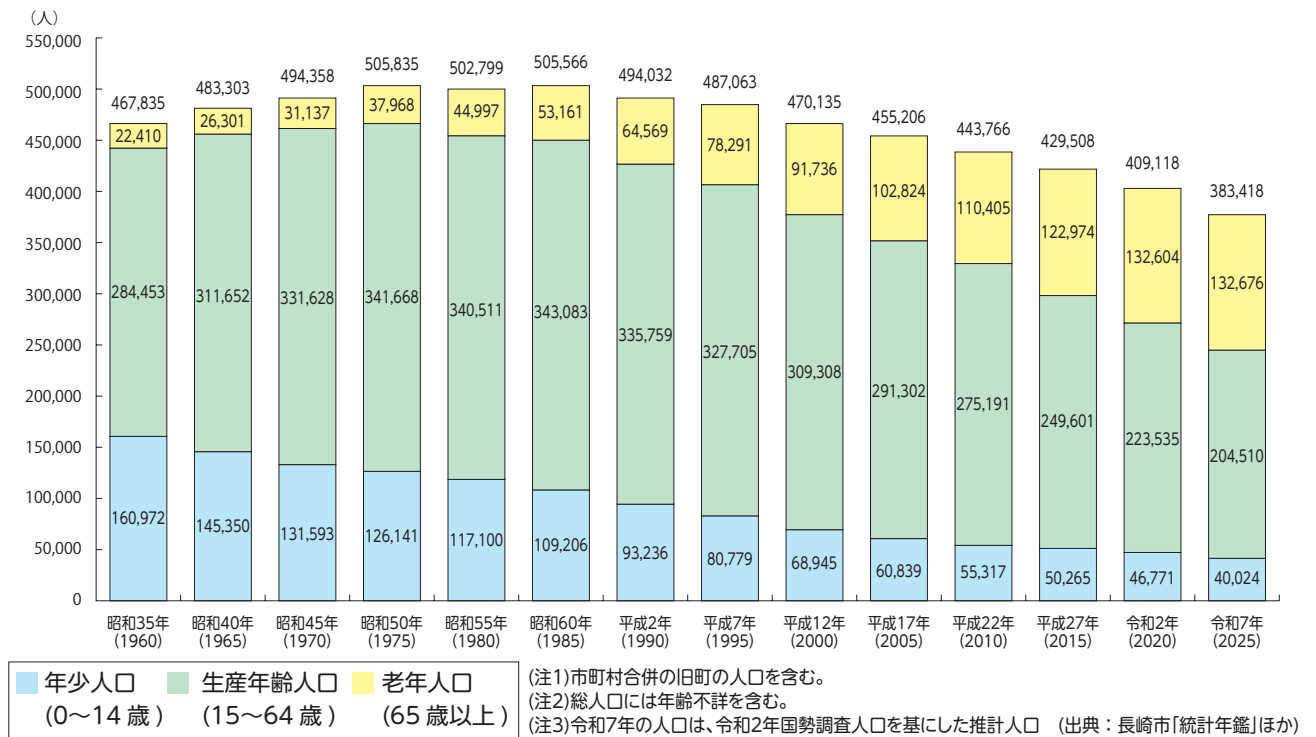


1 人口動態等

1 人口の推移

- 長崎市の人口は、昭和50年頃に、それまでの増加傾向から横ばいへ移行し、昭和60年を過ぎた頃から減少に転じている。
- 令和7年の推計人口は、38万3千418人であり、人口が最も多かった昭和50年から50年間で12万人以上が減少している。
- さらに、「年少人口」が減少の一途をたどる中、「老年人口」の増加が継続しており、少子化と高齢化が同時に進行している状況となっている。



図表1 総人口及び年齢3区分別人口の推移